

2019年度

小牧市障害者団体連絡会通信

No. 2

つながって → ひろげる

2月23日（日）「小牧市障害者団体交流会」を開催します

障害者団体連絡会は、「つながって⇒ひろげる」をキーワードに、小牧市内で活動する障害のある人の当事者団体または支援者団体の連携をはかり、①相互の情報交換を行うとともに、②市民に向けて共同して情報を発信し、これらにより、③障害のある人もない人も暮らしやすい小牧市のまちづくりに資することを目的として活動しています。ぜひ、共同発信をしているホームページもご覧ください。

このたび、相互の情報交換を行う障害者団体交流会を開催しますので、ぜひ、多くの方の参加をお願いします。交流会では、多くの団体とつながって、市民とともに楽しむ場を共有していく活動事例として、しきの会の「休みの国」のイベントを取り上げます。

しきの会の「休みの国」のイベントについては、小牧市障害者団体連絡会ホームページに掲載したチラシを参照してください。副代表の関靖子さんから、どのようにして他団体とつながってウインウインの関係をつくっていくのか、市民とともに過ごすイベントの意義など、報告をしていただきます。

それを踏まえて、みんなで話し合っ（グループワーク）、それぞれの団体の活動について、「つながって⇒ひろげる」協働のアイデアをはぐくみたいと考えています。多くの団体の参加をお待ちしています。



▲ワクワク感いっぱい
「休みの国」のチラシ

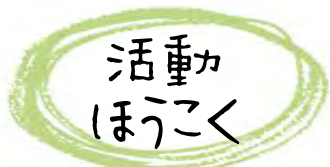
小牧市障害者団体連絡会交流会

日時：2020年2月23日（日）午後1時30分から4時まで

会場：ふれあいセンター3階大会議室

交流会に向けて、打ち合わせをする連絡会のメンバー。▶
難聴者がいらっしやるので、UDトークというスマホアプリを使い、音声を文字に変換して表示することでやりとりをします。文字の誤変換を減らすために、滑舌やスピードなど、声の出し方を意識して話すことに少しずつ慣れてきました。





ひとりぼっちの難聴者をなくそう！

小牧市難聴・中途失聴者協会

12月定例会は、毎年「耳の不自由な方の交流会」と名づけて、広報の「わくわくガイド」に案内を掲載し、難聴者の掘り起こしをしています。当日は、新しい難聴者が参加して下さるだろうかと、ドキドキします。

今年は、ふれあいセンター近くにお住まいのお二人が「聞こえなくなって、おしゃべりもできなくなり、寂しい」と、参加してくださいました。

「要約筆記」が付いた集会は、スクリーンを見ることで、会話ができます。会員との笑顔あふれる交流に「来月も」と感想をいただきました。



▲要約筆記を付けた定例会

「ひとりぼっちの難聴者をなくそう！」の活動方針を地道にコツコツと進めることを再確認する集会となりました。

次回は1月18日(土)にふれあいセンターにて、ゲームや会食で、楽しく新年会を行います。(古木)

クリスマス会で HIRO ショー！

小牧市肢体不自由児者父母の会

昨年12月クリスマス会をふれあいセンター3階で行いました。普段、間近で見ることの難しいHEROショーを親子で堪能させていただき、クリスマスプレゼント(保護者準備品)を、一人ひとりに手渡して頂きました。子どももちろんですが、親もワクワクして大興奮のひとときでした。ご当地ヒーローのジャンスカーさんと仲間のチャンプガイさん、とってもかっこよかったです。(上田)



▲ジャンスカーさんからプレゼントを手渡され、うれしさいっぱいの笑顔。



▲ジャンスカーさんたちと記念写真をパチリ！

おもちゃであそぼう DAY KAKERU コンサート 小牧市おもちゃ図書館きらら

12月1日(日) デイサービスひかりで、おもちゃであそぼう DAY を開催し、6家族17名が参加しました。あそぼう DAY は、親子で楽しい時間を過ごしてもらおうと、おもちゃで遊んだり楽しい体験をして過ごしてもらうイベントで、年4回開催しています。今回は KAKERU さんによるピアノコンサート

のほか、無地のコットンバックに専用の布用ペンでお絵かき

も体験。カラフルに出来上がったかわい

いバックは、大活

躍しそうです。(平手)



▲童謡、Jポップ、映画音楽、クラシックと、みんなのリクエストに応じてピアノを弾く KAKERU さん。体を揺らしたり踊ったり歌ったり。楽しいひと時を過ごしました。

◀ 大好きなものをいっぱい描いたよ!

「休みの国 E X P O ~あそぶ・まなぶ・かなでる~」

しきの会

バリアフリーイベント「休みの国 E X P O ~あそぶ・まなぶ・かなでる~」を、2月2日(日)10時~15時に、小牧市公民館で入場無料にて開催します!

障がい者と健常者がおなじ空間で楽しい!を共有することから、互いを知る機会となり理解が深まります。今回は「あそぶ」「まなぶ」「かなでる」の3つのテーマで、楽しみながら福祉について学ぶことができます。「あそぶ」コーナーでは、パラリンピック競技のボッチャを体験できるコーナーなどを用意。得点を競います。「まなぶ」コーナーは、最新の意思伝達

装置や視覚障がいの疑似体験などで、福祉の現場を体験できます。「かなでる」コーナーでは、音楽療法士の太田奈美さんや全盲のピアニスト小島怜さん、休みの国楽団などのステージが行われ、参加者みんなで音を出したり、踊ったりして楽しむことができます。体験はすべて無料!!アールブリュット展も同時開催します。

ぜひ皆さまお越しくださいませ。(関)

○問同会HP = 「しきの会」で検索



楽しい体験が盛りだくさん!ぜひ、あそびにきてね!

こまきアール・ブリュット障害者アート展を観て

12月14日、ここばかりこまきの会議の後にメンバー2人で観に行きました。「アール・ブリュット」という言葉は「障がいを持った人たちの発表する作品」のことを指す言葉と誤解されて伝わっていますが、本来は、従来の西洋美術の伝統的価値観を否定して「生(き)の芸術」として提唱されたそうです。「芸術は人に障がいがあるかどうかといった属性ではなく、その作品そのものに投影される人間の生命によって生まれるもの」というパンフレットの説明にもあるように、私はこのアート展の作品ひとつひとつから、作者一人ひとりの生きる力を強く感じました。

作者の中には知り合いがたくさんいて、それぞれの人となり重ね合わせながら、楽しく、感心しながら観させてもらいました。その中の1枚の絵、カラフルで紙面いっぱいにあふれるように描かれた細かい絵の一つ一つに表情があって、思いがあふれ



▲展覧会のパンフレット

ているように見えました。作者の描いている姿を映像で見ていると、その絵を描かっていた人は毎年あるイベントで見かける人、いつも静かにイベントに参加している彼の中に、あんなにエネルギッシュな思いがあるのだなあ・・・と驚き、彼が「絵を描くこと」に出会え、こうやって自己実現できていることの素晴らしさをとてうれしく感じました。

(絵心の全くない 御手洗)

小牧市障害者団体連絡会加入団体 (50音順)

- 【正会員】 犬山・小牧地域腎友会、ここばかりこまき、小牧市おもちゃ図書館きらら、小牧市肢体不自由児者父母の会、小牧市難聴・中途失聴者協会、しきの会
 【賛助会員】 小牧市聴覚障害者協会、小牧おひさまクラブ、手話サークルおてだま、手話サークルふたば、全国障害者問題研究会小牧サークルかざぐるま

小牧市障害者団体連絡会通信 2020年1月発行

〒485-0811 小牧市光ヶ丘1-1 アクシス光ヶ丘4-403 (山中)
 FAX 052-308-1416 (インターネットFAXのため名古屋局番)
 メール mail@komaki-sdr.sakura.ne.jp
 ホームページ <http://komaki-sdr.sakura.ne.jp>

